

# 一般社団法人全国食支援活動協力会 定時社員総会

日時：平成30年5月23日（水）14：15～

場所：東京ウィメンズプラザ第一会議室

## 次 第

1. 開会のあいさつ
2. 総会成立の確認
3. 議長及び議事録署名人の選任
4. 議案審議  
第1号議案 平成29年度事業報告ならびに決算報告について  
報告事項 平成30年度事業計画及び予算
5. 議長の解任
6. 閉会

### 第1号議案 平成29年度事業報告ならびに決算報告について

#### 概況

#### 1. 多世代・多様なニーズを持つ人を対象とした団体へのテーマ変更と事務局強化

28年度から行ってきた幅広い世代を対象とした活動支援の展開を基盤とし、6月に旧名称「全国老人給食協力会」から「全国食支援活動協力会」へ変更、それに伴いパンフレット・ホームページ・機関紙等を一新した。従来活動に加え「子どもの食」に関する新たな取り組みが始まり、スタッフを増員し事務局体制を強化した。

#### 2. 食をテーマにした関係団体のネットワークを各地に作る「食でつながるフェスタ」の展開

食をテーマにした活動団体・行政・社協・ボランティアセンター・施設などの関係者がつながる場をつくり、活動の進展と新しい活動の創出をめざしていく「食でつながるフェスタ」を香川・大阪・山梨で開催し、関係者連携と活動の創出に向けての成果を得た。30年度も引き続き全国各地8か所での開催を目指す。

#### 3. 助成プログラムと活動支援の拡大

これまで中心となっていた高齢者に向けた活動への支援に加え、子どもの食の居場所に対する活動支援に関わり、事務局として団体の困りごとや必要な支援についての声を聞いた。子ども食堂支援に関心がある企業や財団に働きかけて活動助成やノウハウ提供など個別支援のしくみをつくり、活動と結びつける中間支援の基盤ができた。活動ガイド「広がれ、こども食堂の輪！活動ガイドブック 地域とのつながりづくり編」と、子ども食堂における衛生や食育のマニュアル「こども食堂あんしん手帖」の編集・発刊を行った。（「あんしん手帖」は30年6月発刊予定）。

## I 法人本部

### 1. 団体名称変更とそれに伴うパンフレット、ホームページ他の改訂

29年6月12日付で団体名を全国老人給食協力会から「全国食支援活動協力会」へ変更、パンフレット、ホームページ、機関紙を改訂。

### 2. 広報普及活動

- ①「べんけい草」130号、「いただきます」(number1-4)を会員および関係者に郵送
- ②公式ホームページ、フェイスブックでの情報提供

### 3. 研修活動

- ①「第20回 全国食事サービス活動セミナー」開催日：7月23日(日)

会場：ジョンソン・エンド・ジョンソン本社カフェテリア(東京都千代田区)

参加者：120名

内容：

1. 高齢者の栄養問題・最新の動向  
「配食サービス栄養施策の考え方」「配食事業の栄養管理ガイドラインについて」
2. 食を通じた参加の場づくり  
「農業・福祉・学び」「こども食堂」
3. 我が事丸ごと共生社会の施策動向、グループワーク

- ②「地域の居場所づくりサミット」開催日10月2日(月)

会場：キューピー本社ホール 参加者92名

(みらいたまご財団第一回助成授与式の後に開催)

内容：

1. 地域のさまざまな食支援活動
2. 先駆者事例(だんだんワンコインこども食堂)
3. パネルトーク

- ③「第31回食事サービスを考えるつどい」開催日：11月23日(木・祝)

会場：飯田橋セントラルプラザ 参加者：70名

(東京食事サービス連絡会主催事業に共催として参画)

内容：

1. 食を通じた多様な居場所づくり  
「ふれあい会食会」「多世代に向けた取り組み」
2. 自分たちの活動を理解する
3. グループワーク  
「居場所のつくりかた」「調理の工夫」「人への伝え方」「次世代につなげる」

- ④「支え合いをひろげる住民主体の生活支援フォーラム」 開催日：10月19日(木)

会場：全社協灘尾ホール 参加者：300名  
(全国社会福祉協議会主催事業に共催として参画)

#### 4. 活動審査・評価等

- ①明治安田生命保険相互会社「地域支え合い活動 助成プログラム」審査 助成事務局を担当、応募 50 団体のうち 10 団体を選出
- ②みずほ教育福祉財団「配食用小型電気自動車寄贈事業」会員に要項配布、2 団体を推薦
- ③キューピーみらいたまご財団「食を通じた居場所づくり支援」助成事務局業務受託。  
2017 年度分 応募 61 件 12 団体選出  
2018 年度分 応募 54 件 16 団体選出

#### 5. 制度政策に関する委員会参加、講師派遣

- ①厚生労働省健康局「配食にかかる事業者向け導入支援ツール及び配食利用者向け活用支援ツール作成等に関する有識者会議構成員」(平野)
- ②全社協等「新地域支援構想会議」(石田・平野)
- ③「広がれ、こども食堂の輪！」全国ツアー実行委員会 副代表(平野)
- ④農林水産省「子供食堂の運営に関する実態調査」協力
- ⑤講師派遣
  - ・立教大学コミュニティ福祉学部「市民活動の組織とマネジメント」(10月)
  - ・生活協同組合パルシステムインフォーマルサービスシンポジウム(1月)
  - ・「食を通じた地域の居場所づくりフォーラム in たまな」(2月)

#### 6. その他

- ①会員管理
  - ・正会員 119 (団体正会員 74 個人正会員 39)、賛助会員 3 (平成 29 年 3 月時点)
  - ・会員データベース作成、利用希望者、活動希望者、各機関への情報提供(承諾分)
- ②マスコミ等への情報提供  
新聞・雑誌の取材、イベント情報記事掲載など
- ③寄付物品の斡旋
  - ・アサヒ飲料株式会社からの寄付物品を子どもの居場所づくりに取り組む 60 団体に寄贈(中央共同募金会との連携)
  - ・食品リボンセンターから都の防災備蓄食品を東京・神奈川・千葉・埼玉の団体へ斡旋(東京都環境局モデル事業)
- ④オーストラリア MOWSA との交流  
MOWSA 役員のピーター・ニールさん夫妻が来日し 5 月 30 日に活動視察や交流会を通して日豪の情報交換と親睦を図り、今後の活動方針や課題について共有した。

## II プロジェクト

### 1. 多世代が集う「共食・共生のつながりの場」促進プロジェクト（JJCC 助成プログラム）

- ・少子高齢社会における支え合いの地域づくりを目標とした世代を超えた「共に食べる参加型の場」推進を目的に、3つの地域で関係団体のネットワークを新たに形成し、「食でつながるフェスタ」と題した研修会を実施した。

- ・食でつながるフェスタおおさか

参画団体：社会福祉協議会、食事サービス団体、子育て広場、こども食堂、隣保館、母子生活支援施設他 15 団体

[第1弾]

開催日：11月18日（土） 参加者：160名

内容：ポスターセッション、分科会、パネルディスカッション、活動見学会

[第2弾]

開催日：3月9日（土）、10（日） 参加者：のべ109名

内容：1日目 支援事例（鳥取・高知）、パネルディスカッション

2日目 講演、事例報告（奈良、大阪）、活動見学会

- ・食でつながるフェスタかがわ

参画団体：社会福祉協議会、子育て広場、こども食堂、県スクールソーシャルワーカー協会、母子生活支援施設他 11 団体

開催日：1月20日（土） 参加者：190名

内容：ポスターセッション、分科会、パネルディスカッション、活動見学会

- ・食でつながるフェスタやまなし

参画団体：社会福祉協議会、食事サービス団体、子育て広場、こども食堂、生協、社会福祉法人他 8 団体

開催日：3月18日（日） 参加者：95名

内容：ポスターセッション、分科会、パネルディスカッション、活動見学会

### 2. 中央共同募金会赤い羽根福祉基金

「広がれ、こども食堂の輪！全国ツアー開催支援およびネットワーク推進事業」

- ・47都道府県の賛同した団体により実施する「広がれ、こども食堂の輪！全国ツアー開催支援と、継続的なネットワーク支援強化のための推進委員会の開催（東京・石川・広島）、取り組み強化のための冊子作成をおこなった。

全国ツアーは30年3月までに全国39か所で開催され、のべ1万人以上が参加。

### 3. 「こども食堂あんしん手帖」制作プロジェクト

- ・こども食堂における食の安心安全を確保し、持続可能な運営に貢献するため、衛生、食物アレルギー、食育についての基礎知識や取り組み事例を盛り込んだ手引書を制作中。30年6月発刊予定。